

津山中央病院 連携広報誌

2023年

4月号

メディネット



Vol.234



北の街の桜並木（津山市東一宮）

撮影 徳田名誉院長

私たち津山慈風会は、地域の皆さんにやさしく寄り添います

Topics

感染管理認定看護師について

『 感染管理認定看護師について 』

津山中央病院
感染管理認定看護師

掛 知美

略歴

2015年 新見公立大学
看護学部看護学科 卒業

2015年 津山中央病院 就職

2022年 感染管理認定看護師 取得



今回、(1)感染管理認定看護師について、(2)新型コロナウイルス感染症流行に伴い見えてきた課題の2点を皆さまに紹介させていただきたいと思います。

†(1)感染管理認定看護師について

『認定看護師とは、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有する者として、本会の認定を受けた看護師をいう(引用:日本看護協会)』とされています。つまり、感染管理認定看護師とは、感染管理分野において熟練した看護技術と知識を有する看護師となります。

感染管理認定看護師の役割として、感染管理の専門的知識や技術を活かし、患者・医療従事者・病院への訪問者を医療関連感染から守り、感染管理活動を通して医療と看護の質の向上に貢献するということが挙げられます。感染管理は、①感染管理システムの構築、②医療関連感染サーベイランス、③感染防止教育、④感染管理に関する基準またはマニュアルの作成、⑤洗浄・消毒・滅菌、⑥職業感染管理、⑦コンサルテーション、⑧ファシリティマネジメントの8つの項目に分類されます。多岐に渡った活動となるため、医療従事者だけでなく、施設課や外部委託業者など様々な職種と連携し、院内の感染対策を向上させるため活動を行っています。

また、院内だけでなく、地域の医療・介護施設にも感染対策についての支援をさせていただいております。必要時には、ぜひ、お声かけいただき、皆さまと共に地域の感染対策の向上に向け、活動ができればと思います。

†(2)新型コロナウイルス感染症流行に伴い見えてきた課題

新型コロナウイルス感染症(以下 COVID-19)の出現から早3年が経過しました。COVID-19の世界的流行に伴い、多くの方が感染対策の必要性・重要性を再認識したのではないのでしょうか。医療従事者だけでなく、一般の方にも手指消毒やマスクの着用がより身近なものになったことと思います。しかし、必要性・重要性の認識は進んだものの、医療現場においては、WHOが推奨する手指衛生の5つのタイミングの遵守が十分とは言えないことや、マスクが鼻部にしっかりとフィットしておらず、正しくマスクが装着できていない、などいくつか課題は残ります。

手指消毒は感染対策の基本といわれており、適切なタイミングで実施できていなければ、病原微生物を有する患者から医療従事者への伝播、そして医療従事者の手指を介して他の患者や環境への伝播の危険があります。また、マスクの装着に関しては、フィット性が低いと本来期待される効果が減少し、病原微生物に曝露する危険があります。現在行っている感染対策をより効果的にするため、手指消毒のタイミング(図1)を以下に示します。



†最後に...

個人之力だけでは、感染拡大の防止は成し得ません。一人ひとりが正しい感染対策を行う事が重要となります。引き続き、お力添えをいただき、更なる地域の感染対策向上を目指していきたいと考えます。

セミナー・講演会情報

●CC セミナー（Web 併用のハイブリッド形式）

講演 『 未定 』

- ・ 講師 産婦人科 医長 佐藤 麻夕子 先生
- ・ 日時 2023 年 4 月 11 日（火）19：00～20：00
- ・ 場所 津山中央病院 研修センター2F 講義室

耳鼻咽喉科の診療について（4月以降）

3/1（水）より当面の間、耳鼻咽喉科の予約ができません。

- ◆ 診療日：月・火・水・金（当日受付のみ）
- ◆ 紹介状なしの当日受付は、10：00 まで
- ◆ 紹介状ありの当日受付は、11：30 まで

ご紹介いただきます先生方におかれましては、ご不便ご迷惑をおかけいたしますが何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

※耳鼻咽喉科の診療に関しまして、ご不明な点がございましたら地域連携室までお問い合わせください。
お問い合わせ：0868-21-8111（内線 3842・3843）

FreeStyle リブレに関するお願い

日頃より、画像診断目的のご紹介ありがとうございます。

このたび「診療情報提供書および問診表（MRI）」の改訂を行いました。

特に裏面については食事に関する注意事項は周知できているものと思われますので、省略させて頂き、その代わりに金属類を装着されることへの注意事項をまとめました。

その中でも、血糖値を簡便に測定できるようになった医療機器については特に注意が必要です。血糖を測定するセンサーの破損や火傷の恐れがあり、はがして頂く必要があります。替えが必要であれば、持参して頂くよう説明をお願いいたします。



診療情報提供書および問診表 (MRI)				
患者名	MRI 種別	科・部 (当院・他院)	年	月 日

注意事項

- 造影の方は造影剤同意書もご持参ください。
- 検査予定時間の10分前には受付を済ませてください。検査時間より遅れて来られた場合、検査日時を変更していただく場合があります。
- 検査を受けられる方(特に小児の方)はできるだけボタン、ファスナー類など金属がない衣服で来院してください。
- 衣服に金属類がある場合は、検査部位にかかわらず検査着への更衣が必要となります。
- 金属類(かつら、ヘアピン、入れ歯等)や磁性体(時計、カード類、補聴器)の持ち込みは禁止です。ロッカーがございましたらご利用ください。
- 検査中は、工事現場と同じぐらいの大きな音が聞こえます。
- 検査中の体位(手、足を組む)によっては、発熱によるやけど、神経刺激を起こすことがありますので、体に異常がございましたらプザーを握って合図してください。
- 検査当日はアイライン、アイシャドー、マスカラ、エクステ、ファッションコンタクト、増毛スプレーをせずにご来院ください。
- 湿布、ノルスパンテープ、ニュープロパッチ、ニトロダーム、ニコチネルの貼付剤は、やけどを引き起こす恐れがあるため必ずはがしてください。
- 義眼は熱傷の恐れがありますので、事前に外してください。
- コルセット、義足、義手、その他装具は磁性体のため、吸着する恐れがありますので外してください。
- 簡便に血糖値を測定できる器具を貼付している方は、火傷や機器の故障の原因となりますのではがしてください。替えが必要な方はご持参ください。
- その他わからない事や疑問がありましたら主治医、担当技師にお尋ねください。